有田市地域防災計画等更新業務委託
プロポーザル審査要領

有田市 経営管理部 防災安全課

１　基本方針

有田市地域防災計画等更新業務委託の受託候補者の選定にあたっては、価格のみならず、事業者の企画力、業務遂行能力、実施体制及び実績等を総合的に評価する必要があることから、公募型プロポーザル方式により審査を行い、最も優れた提案を行った事業者を受託候補者として選定することを目的とする。

２　審査の対象

審査の対象は、「有田市地域防災計画等更新業務委託プロポーザル実施要領」の参加資格要件を満たしている事業者とする。

３　審査の方法

審査は、企画提案書等の内容及びプレゼンテーションの優秀性に基づき評価するものとする。審査は、事前書類審査及びプレゼンテーション審査の 2 段階で行い、事前書類審査の上位 4 者に対してプレゼンテーション審査を行う。ただし、参加者が 5 者に満たない場合は、参加者全てを対象にプレゼンテーション審査を行う。

（１）事前書類審査（参加者が 5 者以上の場合のみ実施）

審査は、企画提案書及びその他提出書類に基づき実施し、審査項目ごとに評価点（得点）を算出する。審査委員全員の合計点をその事業者の評価点とし、その上位 4 者をプレゼンテーション審査対象者とする。

なお、事前書類審査の評価点は事前書類審査のみに利用するため、プレゼンテーション審査に影響するものではない。

①　書類審査結果通知

事前書類審査の実施後、審査対象者に対し、審査結果を書面等により通知する。

②　評価基準

事前書類審査の評価基準は別表 1 のとおり。

（２）プレゼンテーション審査

審査は、企画提案書等に基づくプレゼンテーション及び質疑応答に基づき実施し、審査項目毎に評価点を算出する。審査委員全員の合計点をその事業者の評価点とする。

①　プレゼンテーションの実施方法

・1 者の持ち時間は、プレゼンテーションに 25 分以内、質疑応答に 15 分以内の計 40 分以内とする。企画提案内容に基づき、簡潔明瞭な説明をすること。なお、当日の追加の資料は投影のみ認めるが、事前提出の提案書が審査の基本となる。

・準備時間は 5 分とする。5 分を超えた場合は、その超えた時間をプレゼンテーションの時間から差し引くものとする。また、後片付けも 5 分間とする。質疑応答が終わったら、速やかに片づけを行うこと。

・パソコン等を用いた説明は可能とする。プロジェクター、スクリーン、電源及び HDMI ケーブルは有田市で用意するが、パソコン等その他必要機器は説明者の持ち込みとする。

②　審査予定日

令和 8 年 12 月 22 日（火）予定

※詳細は、プレゼンテーション審査対象事業者に対し個別に連絡する。

③　出席者

プレゼンテーションに参加できる人数は、3 人までとする。

なお、管理技術者は参加を必須とする。

④　プレゼンテーション審査結果通知

プレゼンテーション審査の実施後、審査対象者に対し、審査結果を書面にて通知するとともに、市のホームページにおいて公表する。

⑤　評価基準

プレゼンテーション審査の評価基準は別表 2 のとおり。

４　受託候補者の選定

（１）プレゼンテーション審査の最高得点者を受託候補者（以下「候補者」という。）として選定する。
（２）最高得点となる者が 2 者以上あるときは、審査委員協議により候補者を選定する。
（３）いずれの提案者も審査委員の平均点数が 60 点を下回る得点であった場合は、候補者を選定しない。
（４）上位の事業者が辞退または失格となった場合は、得点が高い者から順に候補者とする。

別表１

有田市地域防災計画等更新業務委託
プロポーザル事前書類審査　評価基準

No.	審査項目	評価視点	配点
1	基本方針・企業の信頼性	業務目的の理解、庁内の防災対応能力向上に向けた提案の妥当性	30
2	業務体制	組織体制、担当者・役割の明確性、スケジュールの妥当性	20
3	実績・専門性	各種防災計画の作成及び更新の実績、関連するデザインや編集等のノウハウ	30
4	資料作成・有用性	提出書類の不備の有無、正確性、提案資料の明確さ	20
	合計		100

別表 2

有田市地域防災計画等更新業務委託
プロポーザルプレゼンテーション審査　評価基準

No.	審査項目	評価視点	配点
1	基本方針・企業の信頼性	業務目的の理解、庁内の防災対応能力向上に向けた提案の妥当性	5
2	創意工夫・企画力	各種防災計画作成・更新等の業務実績に基づく創意工夫	20
		効果的な計画・マニュアル更新方針の提案	20
3	業務体制	組織体制、担当者・役割の明確性	10
		スケジュール妥当性・バックアップ体制	5
4	実績・業務経歴	各種計画作成・更新等の業務および類似業務	5
5	資料構成・有用性	提案資料の明確さ、全体効果への寄与	5
6	価格評価・費用妥当性	費用の妥当性	10
7	プレゼンテーション	説得力、質疑応答対応、提案理解の深さ	10
8	その他評価点	本業務効果を更に高める追加提案	10
	合計		100